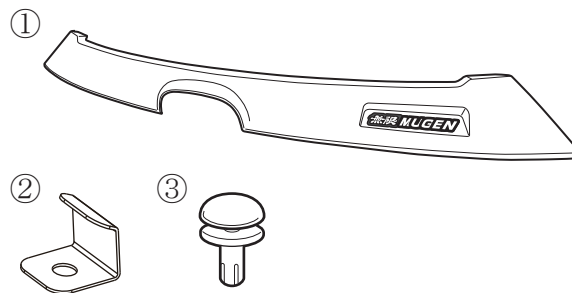




【構成部品表】

No.	PARTS	NAME.	QTY.
①	フロント	グリル ガーニッシュ	1
②	ブラケット		2
③	クリップ		2



未塗装品のみ 未装着品

No.	PARTS	NAME.	QTY.
④	エンブレム		1

QTY. 1



【必要工具】

・ドライバー + ・クリップリムーバー ・イソプロピルアルコール ・ウエス

◇◆塗装作業の注意事項◇◆

- 乾燥は、常温乾燥をお勧めします。強制乾燥での焼付上限温度は60℃です。60℃以上に加熱すると変形する場合がありますので、ご注意下さい。
- その他につきましては、塗料メーカーの取扱説明書に従って、有機溶剤中毒および引火事故等の危険防止に努め、作業を行って下さい。
- 遠赤外線機でのスポット乾燥はお止め下さい。

推奨品 塗料：2液性アクリルウレタン樹脂塗料（常温乾燥タイプ）

【未塗装品】 ※塗装済み品の場合はP3の「I. 取付準備」から始めて下さい。

- ④エンブレムを①フロント グリル ガーニッシュに貼り付ける。

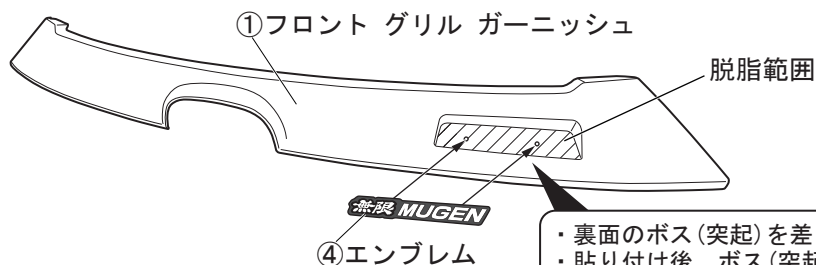
※貼り付け面を脱脂すること。

[使用部品]

④ (1)

無限 MUGEN

エンブレム



- ・裏面のボス(突起)を差し込む。
- ・貼り付け後、ボス(突起)をカットする。

I. 取付準備

《注意》・フロント グリル ガーニッシュおよび車体に傷を付けないように注意して作業を行うこと。

- ・作業は他の人に保持してもらいながら行うこと。
- ・作業は左右同様にを行うこと。

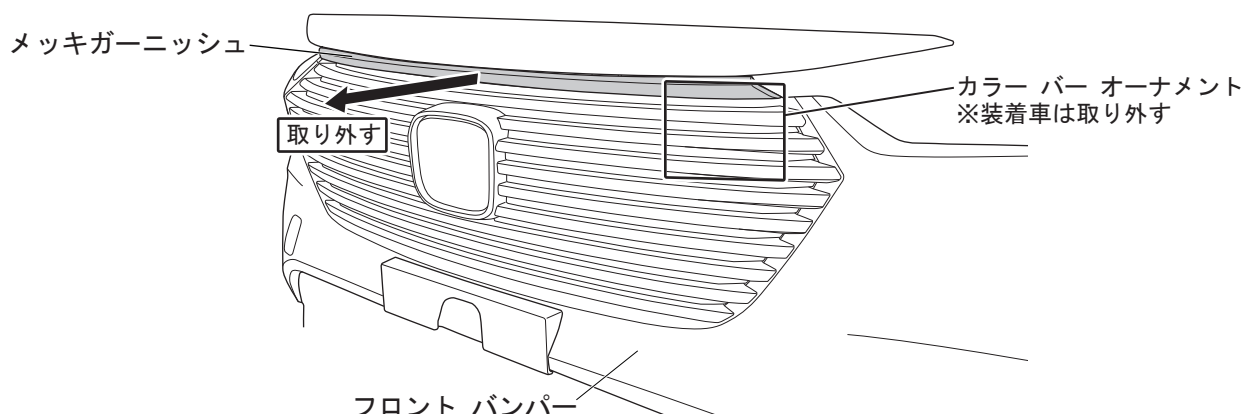
1. 車両からフロント バンパーを取り外す。（サービスマニュアル参照）

※取り外した車両ビス、クリップは再利用する為、紛失や破損に注意すること。

2. フロント グリルからメッキガーニッシュを取り外す。（サービスマニュアル参照）

※取り外した車両部品、ビス類は再利用する為、紛失や破損に注意すること。

※フロント グリルにカラー バー オーナメントが装着されている場合は、3ヶ所全て取り外す。取り外したカラー バー オーナメントは再利用しない。

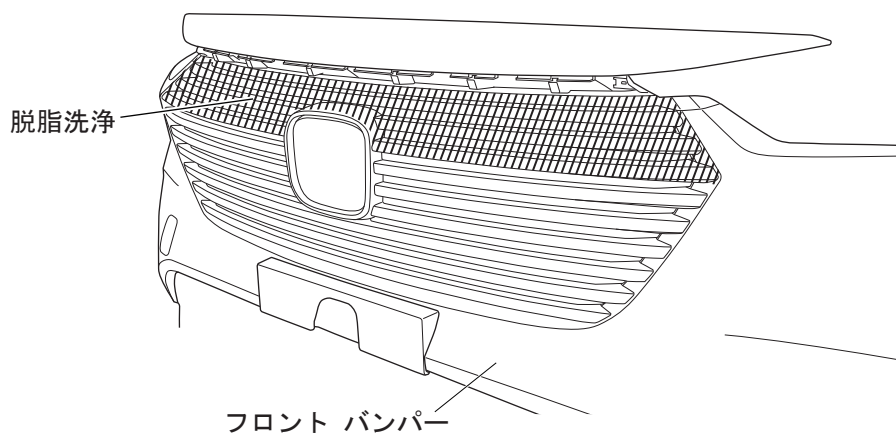


II. フロント グリル ガーニッシュの取付

《注意》・フロント グリル ガーニッシュおよび車体に傷を付けないように注意して作業を行うこと。

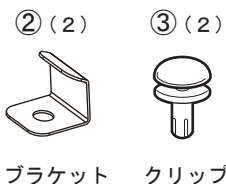
- ・作業は他の人に保持してもらいながら行うこと。
- ・作業は左右同様にを行うこと。
- ・両面テープの接着不良を防ぐ為、取り付け後、最低1日以上は水がかからないようにすること。

1. フロント グリルの下図斜線部をイソプロピルアルコールで脱脂洗浄する。

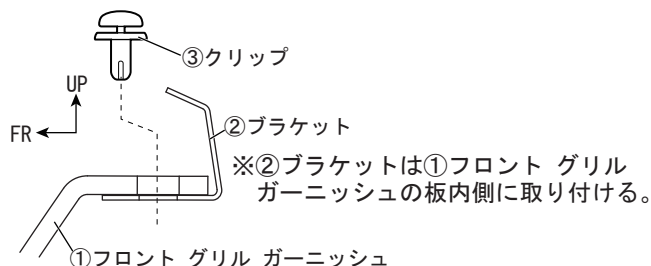


2. ①フロント グリル ガーニッシュ上部に②ブラケットを③クリップで片側1ヶ所取り付ける。

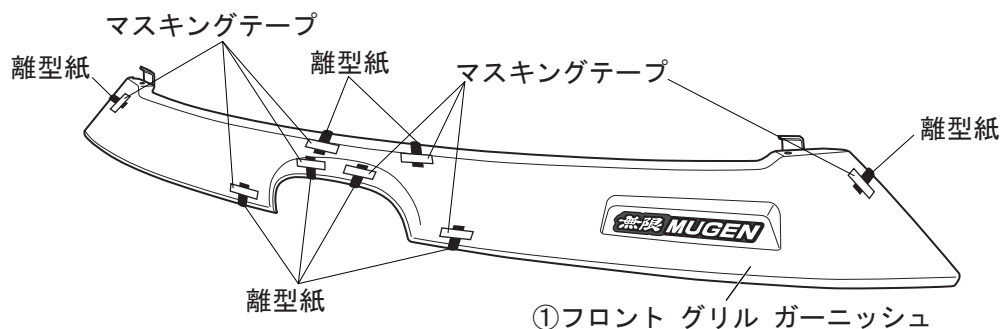
[使用部品]



[②ブラケット取り付け方向]



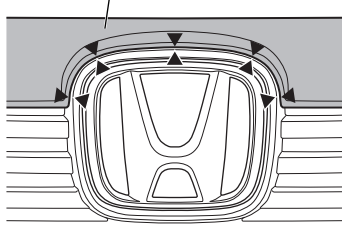
3. ①フロント グリル ガーニッシュの両面テープの離型紙を30mmほど剥がし、表側に折り返してマスキングテープで固定する。



4. ①フロント グリル ガーニッシュをフロントグリルに仮あてし、下図のように取り付け位置を確認して図示部の両面テープの離型紙を矢印の方向に下記順番で引き抜く様に剥がし圧着する。

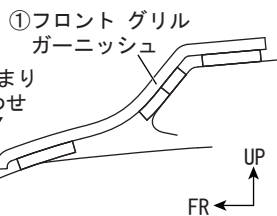
[取り付け位置基準]

①フロント グリル ガーニッシュ

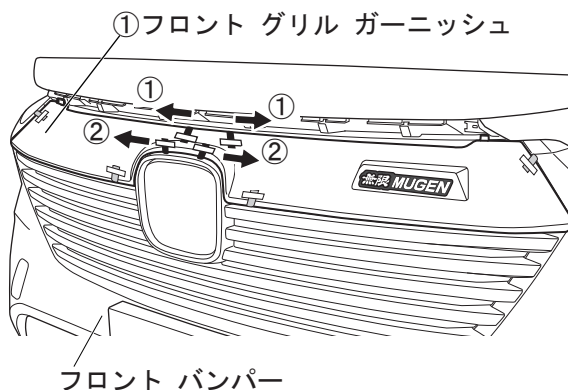


①フロント グリル ガーニッシュ
端末とHマーク エンブレム上部
を均一隙にする。

[断面図]



①フロント グリル ガーニッシュ
端末とHマーク エンブレム上部
のR止まりに合わせる。



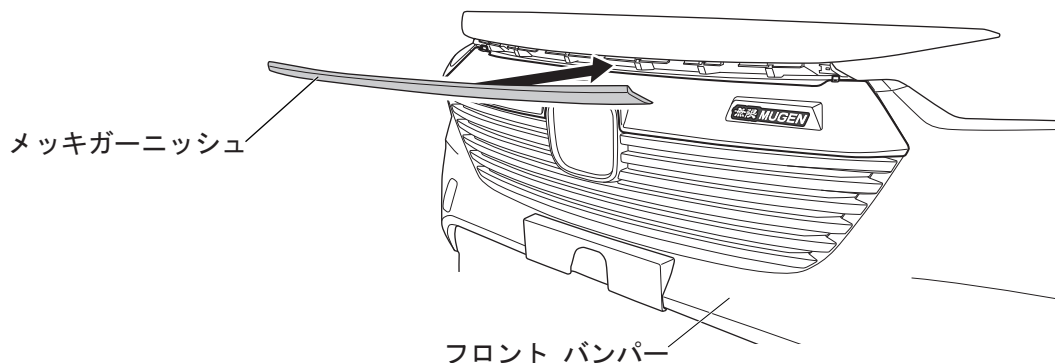
※両面テープの圧着は十分行うこと。

圧着不足は、フロント グリル ガーニッシュの浮き剥がれの原因となります。

注 意

接着力を向上させる為、両面テープ貼り付け時には、作業環境が20℃以上の状態で行うこと。
温度が低いときには、両面テープをドライヤー等で温めてから作業を行うこと。

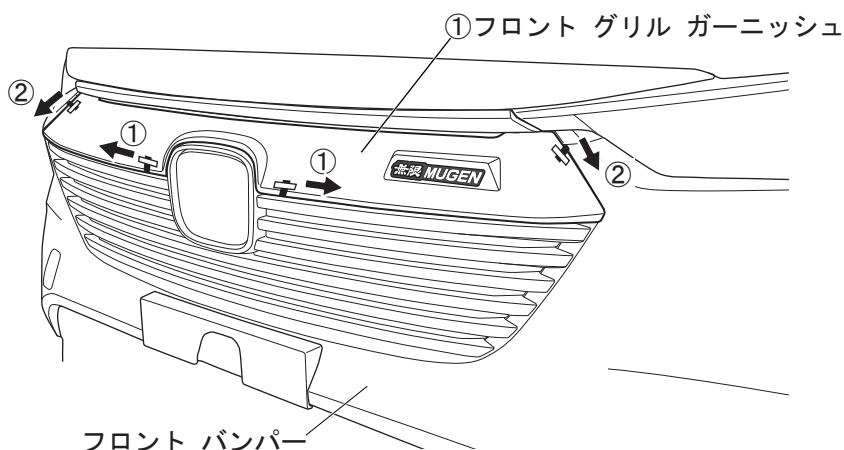
5. フロント バンパーにメッキガーニッシュを復元する。(サービスマニュアル参照)



6. フロント バンパーを車両に復元する。(サービスマニュアル参照)

7. ①フロント グリル ガーニッシュの両面テープの離型紙を矢印の方向に下記順番で引き抜く様に剥がし圧着する。

※4 ページⅡ-4 で貼り付けた両面テープ部も再圧着すること。



※両面テープの圧着は十分行うこと。

圧着不足は、フロント グリル ガーニッシュの浮き剥がれの原因となります。

注 意

接着力を向上させる為、両面テープ貼り付け時には、作業環境が20℃以上の状態で行うこと。
温度が低いときには、両面テープをドライヤー等で温めてから作業を行うこと。

8. 取り付け状態が完全か確認する。